ISSN 0289-8144

なきごえ

1998

8

大阪市
天王寺動物園協会

なきごえ
8
1998

New Face

（撮影：森本 委利）

2 —— New Face ナベヅルの誕生（森本委利）
3 —— 動物と私 ネズミとブート（東野健一）
カバーウォッチング ボアコンストリクター（萩原祐二）
4 —— 「THE LAST 5000 トラを救え!」（堀　純一）
6 —— サル・ヒヒ舎の近況（野口秀高）
8 —— グラフZOO '98 赤ちゃん特集（野口秀高）
10 —— 獣医室から ⑫ 灸すれば通ず？（高橋雅之）
11 —— ZOO DIARY（竹田正人）

カバーウォッチング

ボアコンストリクター

トカゲ亜目　トカゲ科

Boa constrictor

メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ北部に分布しています。

ヘビの多くは、卵を産んで繁殖するのが普通ですが、本種は、お腹の中で卵が孵化（ふか）して生まれてくる卵胎生（らんたいせい）です。

（撮影：萩原 祐二）

動物と私

ネズミとブート

東野 健一 さん
（ポトゥア・絵巻物師）

以前、インドの西ベンガル州にいたときに出会った生き物を少し紹介します。

まずは、ヤモリです。

彼らは日本のヤモリと様子がだいぶん違い、半分すきとおったような黄土色の体をしています。まるでゴムでつくったおもちゃのようです。

夕方になると、昔から縄張りがあったように、決まって同じあたりに現れます。動かないこと1時間、微動だにしません。明かりに集まってきた羽虫が壁にとまると、戦闘開始です。今まで動かなかったヤモリが、じわりじわりと羽虫に近づきます。最後の一瞬の動きが速いのなんの！

あっと言うまに羽虫は口の中、大きな真っ黒な目玉をくりくり動かしながら、あごをゆうゆうと動かし、つぎの獲物に向きを変えます。

羽虫の多い時期になると、明かりのある壁には羽虫がいっぱい。ヤモリは一歩も動くことなく、長い舌をペロリペロリいくらでも食べ続けます。

さて、次はブートです。

彼らは夜に現れるようで、とくにへんぴな村に入るとたくさん住んでいます。

ポトゥアと呼ばれる絵巻物師の家に泊めてもらった晩のこと。その友人のポトゥアは、家の入り口に毛布をひき、ショールを羽織って、大きな棒を持ち、寒い夜空の下、ブートの見張りをしてくれるのです。

私は、部屋の中で眠ろうとするのですが、その部屋の先住ネズミたちが、顔の上といわず走り回り寝られたものではありません。

「おーい、ネズミが暴れ回って寝られへん、なんとかならへんか」と、外の二人に声をかけると、帰ってきた言葉はこうでした。

「ネズミは、私たちの家に何百匹と居る。だいじょうぶ、ブートは俺たちがここで番をしているから、絶対に家に入れないから心配ない。寝ろ。」そう言って彼らは朝まで、そこに座ってブートの番をしてくれたのです。

ブートというのは、彼らがよく出会うお化けのことです。

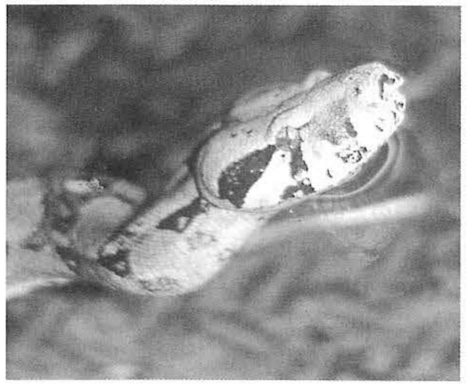
ヤモリ→ティキイティキイ（ベンガル語）
ネズミ→インドゥール（ベンガル語）
オバケ→ブート（ベンガル語）

（ひがしの けんいち）

ナベヅルの誕生

ツル目　ツル科

当園でのナベヅル誕生はこれが初めてです。日本での繁殖は、2園目となります。越冬では、このツルは世界で生息するもののうちほとんどが鹿児島県出水市に飛来します。



「THE LAST 5000トラを救え!」 特別展を終えて

生き生き地球館

皆さん、大阪市立環境学習センター（生き生き地球館）をご存じですか。
地球を守るためにできることを、見て・聞いて・ふれて・学ぶことを目標に、当館は昨年4月30日に、鶴見緑地の中にオープンしました。
今、人間の様々な活動が、地球環境を危うくしています。私たち一人ひとりが、資源やエネルギーを浪費するライフスタイルを見直し、環境を守るために行動することが大切です。
当館は、市民のみなさんと一緒に環境問題について考え、行動するため、設立されました。

生き生き地球館

当館は展示ゾーン、アースモニターシップ（環境疑似体験施設）、図書・ビデオライブラリー・研修室等で構成されています。

また、本年6月には、都市近郊の里山を再現した「自然体験観察園」が完成し、記念イベントとして、親子田植え体験会が催されました。

「自然体験観察園」イメージ図

今後も草刈り、稲刈り体験や自然観察会等を実施します。是非ともご利用下さい。

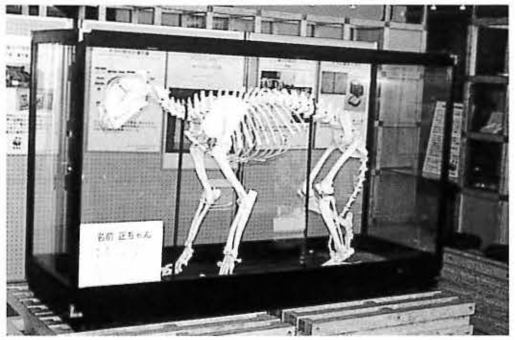
当館一階の展示フロアーには「地球温暖化」や「オゾン層破壊」、「酸性雨」等の9つの地球環境問題を紹介するコーナーがあり、その一つに「野生生物種の減少」問題を紹介するコーナーがあります。

このコーナーは、「幻の動物園」といい、エレファントモアを始めとする、今は絶滅して見ることのできない動物の姿や鳴き声を紹介しています。

また、エコギャラリーでは、2, 3カ月ごとにテーマをかえた展示を行っております。

5月1日から7月31日まで「THE LAST 5000トラを救え！」特別展を実施しましたので、内容を紹介します。

1. 本物のトラの骨格標本
ートラの強さの秘密をさぐるー
（天王寺動物園にいた正ちゃんの骨格標本）
強い足、鋭いキバ、これが強いトラの秘密。さすが森の王様ですね。



トラの骨格標本

2. トラ保護のためのパネル展示
ーなぜトラが絶滅しようとしているかー
100年前にいた10万頭のトラが、今では5000頭。どうしてでしょう？
（WWF・JAPAN提供）

なきごえ34(8).1998

3. ワシントン条約紹介パネル展示
ー3亜種のトラがすでに絶滅ー
トラが住んでいた森がどんどんなくなっています。（WWF・JAPAN提供）

ワシントン条約紹介パネル展示

4. 輸入禁止の漢方薬パネル展示
ートラやヒョウの骨を使った漢方薬はこれー
トラやヒョウ、熊、麝香（じゃこう）、鹿などが薬を作るために殺されています。このような薬を購入することが野生動物を減らすことにつながります。（大阪税関協力）

5. 阪神タイガースのトラ保護支援活動
ーTシャツや帽子を買えばトラ保護にー
（阪神タイガース提供）

6. トラの折り紙コーナー
ー折り紙にあなたのメッセージをー
① 折り紙でトラを作る
② そのトラにメッセージを書き込む
③ 折り紙をボードに張り付ける

折り紙で作ったトラ

7. トラの足跡スタンプ
ートラの足はこんなにデッカイ！ー
（上野動物園 フジ：スマトラトラ オス・13歳）

8. 特別講演会
◎トラが伝説の生き物にならないうちにいまできることから始めようー7月12日開催
講師　WWFトラフィックジャパン
清野比咲子氏
◎天王寺動物園のトラー7月26日開催
講師　天王寺動植物公園事務所
所長　井坂　進氏

来館された皆様はトラの骨格に驚かれ、またトラの折り紙メッセージには「もう毛皮のコートは着ない」・「トラさんがんばれ」なかには「成績が上がりますように」・「子宝に恵まれますよう」？などが多数寄せられました。

日本では野生のトラはいませんが、古くは高松塚古墳の壁画にも、また大阪城天守閣にもトラは登場します。また、「虎の威をかる狐（きつね）」や「虎穴に入らずんば虎児を得ず」などおなじみの格言もあります。そのせいか来館された皆さんの関心もふかく、エコギャラリーはいつも人が集まっていました。

一方では日本でも野生の猿や鹿やカモシカ等が田や畑を荒らし相当な被害が生じていると言われています。

原因は山奥まで開発が進み、かれらの生活するところが無くなっているからだと言われています。どうすれば人間と野生生物とが共存できるのでしょうか？

よく肉を食べれば、熱帯雨林を破壊する（大規模牧場を作るため）、エビを食べればマングローブ林を破壊する（養殖池を作るため）、と言われています。

私達の生活が地球に意外な影響を及ぼしています。

あらためて身のまわりを見直し、地球にやさしい生活を考えてみませんか。

当館では今後も様々な環境講座や、イベント、特別展を企画しております。

皆さんも当館を利用されて私達と一緒に環境問題について考え、行動しませんか！

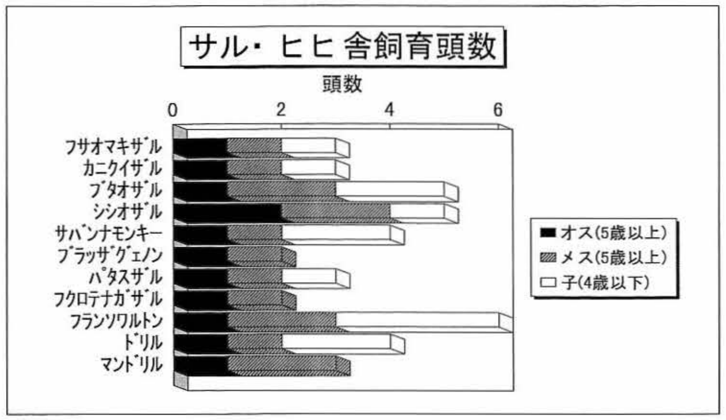
最後に当特別展にご協力頂いた、WWF JAPAN（世界自然保護基金日本委員会）・TRAFFIC JAPAN、天王寺動植物公園事務所、㈱阪神タイガース、大阪税関広報部の皆様に感謝致します。

大阪市立環境学習センター 事業課
課長代理　堀　純一

サル・ヒヒ舎の近況

サル・ヒヒ舎には、現在11種40頭（'98.7.24調べ）のサル達が飼育されています。

獣舎は、寝室と屋外放飼場に分かれており、管理通路の下に出入りするシュートが設けられています。シュートには、鉄板シャッターと格子のシャッターの2枚があり、冬は鉄板、夏は格子と使いわけをしています。寝室側も観覧通路がありガラス張りになっていて、入園者にも給餌(きゅうじ)のようすが見られるようになっています。



さて次に、サル・ヒヒ舎で展示中のサル達を紹介いたしましょう。

フサオマキザル

昨年の8月に子供が誕生し、3頭を収容。オマキザル科の中でも、とても頭のよいサルと言われています。人をよくおぼえていて、何年も前に飼育した担当者の顔をおぼえています。人なつっこいサルでペットとしてもよく飼われます。

フサオマキザル

クルミ等の硬い食べものを与えますと両手で持ち、地面にたたきつけ、割って中の実を食べる行動をします。今いるオスは、推定27才をこえる位の年令なので、頭や背中の毛もだいぶ抜けはじめてきましたが、まだ元気でキィキィーと言って走り回っています。サル舎では、人気動物に名を連ねています。

カニクイザル

東南アジアの河川敷とか、海岸地帯に生息し、カニとか昆虫を捕って食べるのでこの名前がつきました。オスは、気性の荒い個体が多いようで、当園のオスも短気でよくおこります。だからあまり目を合わさないようにしています。このサルも昨年1頭子供が生まれました。

ブタオザル

頭部が平坦でホオの毛が張り出した顔をし、尻尾(しっぽ)はブタの尾のようにクルッとまいているのが特徴です。東南アジアでは、そのサルを馴(な)らして、ココヤシの実を取らせています。

このサルとにらめっこをすると、頭部を少し下げ、上目使いで口びるを尖(とが)らせパクパクと動かす表情をします。これは、攻撃前や、交尾行動の前、エサが欲しい時などによくする行動です。今いるメス2頭はともに、昨年子供を出産しています。

シシオザル

ワシントン条約の附属書Ⅰに該当するサルで、尾がライオンのように房毛(ふさげ)になっているのが特徴です。顔にもライオンのようなたてがみがあります。現在5頭を飼育中ですが、若いペアがいますので、赤ちゃんが早く生まれるのを待っている最中です。

サバンナモンキー

草原地帯にすむ地上性のサルで、毛並がオリーブ色で、機敏に行動するサルです。オスはペニス部分が赤く、陰のうは明るいブルーできれいなサルです。昨年の2月と10月に赤ちゃんが生まれています。

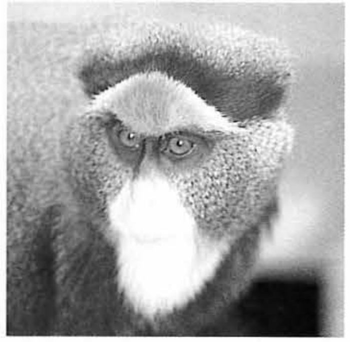
サバンナモンキー

パタスザル

このサルもサバンナモンキー同様、地上生活をしています。走るのに適した長い手足を持ち、またジャンプ力もありよく飛びはねています。毛は明るいレンガ色をしており、白いりっぱな口ひげをたくわえ、どこかで以前に見た事があるような顔をしています。今年、赤ちゃんが生まれています。

ブラッザグェノン

このサルも白い口ひげがあり頭部に環状のオレンジ色の毛が生えきれいなサルです。その顔から水戸黄門ザルというアダ名も生まれました。



ブラッザグェノン

フクロテナガザル

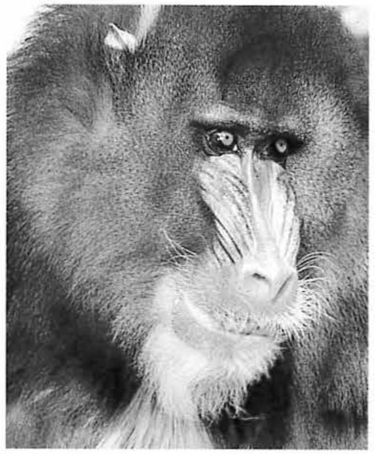
のどに大きな鳴き袋があり、この袋をふくらませて声を共鳴させ大きな音を出すことができます。オスとメスのデュエットソングを奏(かな)でるので、鳴き始めると耳栓をしたくなるくらいです。午前中に1回と午後に1回の1日に2回位の割合いで鳴きます。

フランソワルトン

ルトンの仲間は、木の葉や花を主食にしています。当園でもクロガネモチやネズミモチの木を植栽し餌として与えています。今年の4月に子供が生まれました。親は全身まっ黒ですが、子供はオレンジ色をしていて、とてもきれいです。半年ほどで黒い毛に変わります。今の子供も手足が除々に褐色になってきました。

マンドリル

地上性のサルでオスは大きく40kg位の体重があります。メスはオスの半分位です。オスの顔はとてもきれいで赤と青のコントラストが印象的ですが、今のオスはまだ若くあまり鮮明な色が出ていませんが、完全な大人になるとお尻の方はきれいなブルーになります。



マンドリル（オス）

ドリルの種類は、糞を地面や壁にこすりつけるくせがあり、左官屋さんというあだ名があります。で、担当者はというと掃除が大変なのです。

ドリル

マンドリルとは非常に近縁で生態や行動もよく似ています。顔は黒色で、ワックスで磨いたようにピカピカに光っています。マンドリルもドリルも亭主関白で、いつもいばっているように見えます。ドリルの仲間は生息頭数が非常に少なく絶滅が心配されている程になっています。

サル・ヒヒ舎にはさまざまなサル達を飼育しているのですが、警戒音や攻撃時の音にはどのサルも反応します。また一種類のサルが興奮してあばれると次々と連鎖(れんさ)反応を起こし、全体のサルがあばれまわりとてもにぎやかです。さて、簡単にサル・ヒヒ舎の近況をご紹介しましたが、我々飼育係一同はいつまでもにぎやかなサル・ヒヒ舎であってほしいと願っています。

（飼育課：野口 秀高）

なきごえ34(8).1998

グラフ ZOO

'98赤ちゃん特集

今年も多くの動物たちが赤ちゃんを生みました。
新しい仲間たちを紹介します。

野口秀高

カリフォルニアアシカ

今は元気にプールで泳いでいます。

ナベヅル

なかなか繁殖をしないツルです。

ニホンジカ

鹿の子もようがとてもきれいです。5頭生まれました。今はもう親と同じエサを食べています。

アミメキリン

母親と仲良く運動場を走っています。

アカダイショウ

体長は25cm位の細長いヘビで、赤い斑点(はんてん)がきれいです。

ニホンザル

今年も6頭の赤ちゃんが生まれ、サル島もにぎやかです。

フランソワルトン

親は黒い毛ですが赤ちゃんは明るい金色の毛でとてもきれいな赤ちゃんです。

baby bebe baby

獣医室から ⑫

「灸すれば通ず？」

最近、イヌやネコの治療に東洋医学を応用することが盛んに研究されるようになってきています。当園でも、今年になり東洋医学の応用を試みた例があったので少しお話してみたいと思います。現代の科学が西洋を中心に起こり発展してきたことは歴史などでご存知のことと思います。科学の一つである医学や獣医学もそのとおりで、東洋（獣）医学に対し西洋医学、西洋獣医学と言ってもよいでしょう。東洋（獣）医学の特徴は古い歴史の中でたくさんの経験が集められ整理されて形作られてきた点にあると言えます。主として中国で生まれ発展してきたので中（獣）医学や漢方（獣）医学の呼び方もあります。東洋（獣）医学の技術の中で、実際に広く応用されているものは漢方薬、それから鍼灸（しんきゅう＝「はり」と「やいと」）です。

ヤギの帝王切開手術実施中

さて、今年の1月にお産をまじかに控えたヤギが立てなくなって苦しんでいると言う報告がありました。もう子供がいつお腹から出てきても不思議ではない時期に来ています。さっそく血液をとり検査をしましたが、状況はかんばしくないようです。1日だけ子供が自然に産まれてこないものかと様子を見ましたが、ヤギの様態はさらに悪くなるばかりですので、手術によりお腹の子供を取り出すことにしました。ご存知かもしれませんが、この手術を帝王切開といいます。帝王切開の結果、2頭の子ヤギが出てきましたが1頭は既に死んでおり、もう1頭も残念ながら数時間後に死んでしまいました。お腹はずいぶんと楽になったろうと思ったのですが、母ヤギの状態が一向に上向きません。このところ、毎年お産をしているヤギなので体にずっと負担がかかっていたようです。手術後も毎日点滴でブドウ糖やビタミン、ミネラルを補給したりするのですが、相変わらず食欲がなく、また立つこともできません。獣医学の教科書からも予後不良ということは、すなわち様態が悪いほうに向かう（死んでしまう）ことが多いというふうにでています。子供がだめだったから何とか母親だけでも助からないかというのが皆の思いでした。長いこと起き上がることもできないので床擦れも始まってきました。4つの足も強張りがあるようです。

ヒトでやっているような物理療法ができないかと思案しましたが、あいにくそのような設備はありません。そこで、思い付いたのが灸すなわち「やいと」でした。すぐに近くの薬局に走りもぐさを買い求めてきました。「はり」や「やいと」をするいわゆる「つぼ」のことを「経穴」といいます。獣医学の鍼灸の本にはウシ、ウマ、ブタ、イヌの経穴はでていましたがヤギはありませんでした。そこで分類学上一番近いと思われるウシの経穴で今回の症状に見合うものを3個所選び、毎日お灸をすることにしました。選んだ場所は全て背骨の真上に当たりますが毛が生えていますのでバリカンで毛を刈り込みました。この経穴に毎日数回お灸をすえるのです。立ちあがることのできないヤギは最初少し驚いたようですが、暴れることもなく首を曲げてお灸の様子をじっと見ています。次の日からは、もぐさから煙が立ち上るのを気のせいか気持ちよさそうに見ているように思えました。

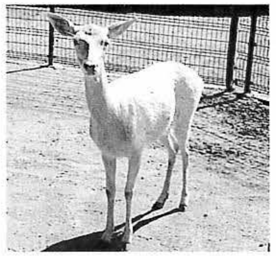
灸を始めて4日目、何とこのヤギが立ったのです。回復については半ばあきらめていただけに大変うれしい思いをしました。

食欲もその後徐々に回復し、現在はかっての勢いを取り戻しているようです。「窮すれば通ず」といいますが、まさに灸すれば通じたようです。今後は漢方薬も含め動物園の動物の治療への応用についてもっと研究していきたいものと思っています。

（飼育課：高橋雅之）

今月もおもしろ情報満載 ZOO DIARY

6月1日 先月、姫路セントラルパークから贈られてきたダマジカのメス2頭の検疫が終わったので、シカ舎に移しました。展示場とオスに慣らすため、当面の間オスを展示場の奥にあるあずまやに隔離し、見合いを始めました。



6／3. 爬虫類生態館“アイファー”でヒョウモントカゲモドキが産卵しました。

6／4. 高知県の動物園“わんぱーくこうちアニマルランド”からムササビ1ペアが贈られてきました。検疫終了後、夜行性動物舎で展示する予定です。

6／7. 屋内で展示していたヨウスコウワニ7頭の屋外展示を始めました。

6／8. オランウータンのオス“ブル”の定期健康診断を行いました。他の3頭も休園日に順次実施する予定です。

6／10. ナベヅルのヒナがふ化しました。これは5月8日に産卵したもので、当園では初めてのことです。越冬のためにやってくる鹿児島県と山口県では特別天然記念物に指定されている希少な鳥です。

6／13. アミメキリンの赤ちゃんが生まれました。

6月15日 オランウータンのオス“サブ”の定期健康診断を行いました。また、将来の人工授精に備えて、精子を採取しました。

6／17. レッサーパンダ4頭にワクチンを接種しました。

6／20. カルガモの卵を5個保護しました。ふ卵器による人工ふ化を試みる予定です。

6／23. 3月19日にふ化したアカコンゴウインコのヒナが巣立ちしました。

オシドリが2羽ふ化しました。また、6月20日に保護し、人工ふ化を試みていたカルガモが2羽ふ化しました。

6月24日 今季4頭目のニホンザルの赤ちゃんが生まれましたが、母親が面倒を見ないため人工哺育を始めました。

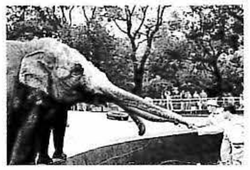
6月26日 (社)大阪市天王寺動物園協会の平成10年度総会が開催され、磯村会長の挨拶の後、各議案について審議され原案どおり満場一致で承認されました。今回は役員の改選の年で、伊東専務理事が副会長に、その後任に中山事務局長が就任しました。また、理事の北山前本部長の退職に伴い後任の森下本部長が、雪印乳業の藤田氏、江崎グリコの山田氏、カネボウフーズの岡田氏がそれぞれ理事に就任されました。

6／27. カリフォルニアアシカの赤ちゃんが生まれました。

6／28. ヒヨドリのヒナ2羽とドバト3羽、スズメのヒナ1羽を保護しました。また、6月に保護したドバトが元気になったので、自然復帰させました。

■お知らせ■

- ゾウの春子にリンゴのプレゼント
  日時：9月15日(祝)　午後1時～
  場所：ゾウ舎



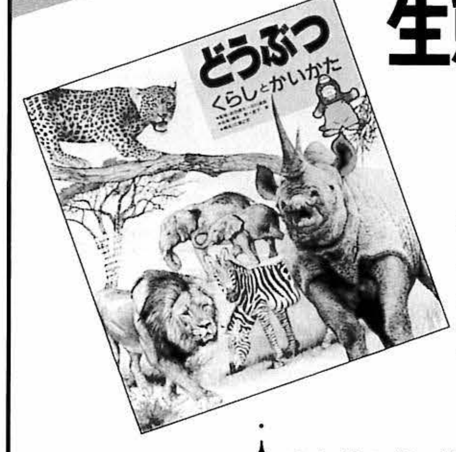
- 動物園のおじさんのお話
  日時：9月20日(日)　午後1時～　内容、場所未定

愛ある暮し、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の中にギッシリ

動物園で暮らす様々な生き物達、自然の中ではどんな暮らしをしているのか？　動物園での世話の仕方は？　仲間は？　など、写真と精密イラストをまじえ紹介します。

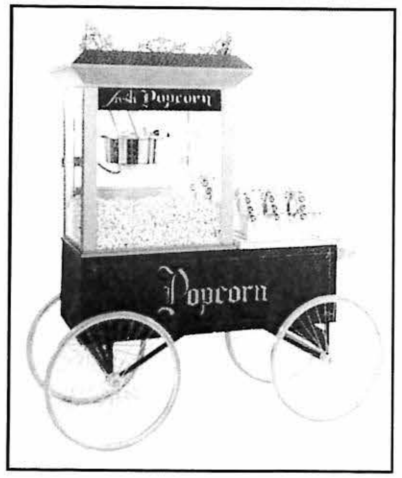
くらしとかいかたシリーズ<既刊本>

B5変型判・オールカラー

むし くらしとかいかた
野山でみかける身近な昆虫たち250種を紹介。

ちいさないきもの くらしとかいかた
昆虫以外の小さな生き物を320種紹介。

お求めは、お近くの書店で。　ひかりのくに株式会社　本社／〒543-0001　大阪市天王寺区上本町3-2　☎06-768-1151代表



マスダのポップコーン

マスダ

いつでも どこでも ポン ポン ポン

〈営業品目〉 製造機械・保温機　他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品　〒561-0856　大阪府豊中市穂積1-10-30　TEL (06)865－0165

FUJIFILM
I&I - Imaging & Information

新発売

楽しいショットを3つのサイズで。

ADVANCED PHOTO SYSTEM

FUJICOLOR スーパー写ルンです スリム
APSフィルム使用
切替

撮影シーンに合わせて、
標準・ハイビジョン・パノラマのサイズを自由に切替。

- スーパースリムの手軽さにプリントサイズ選びの楽しさプラス。
- APSフィルムだからインデックスプリントも。
- 切替はファインダーも連動、見たままのフレームでパチリ。

カメラの大林
桜橋本店 ☎341-8091
阪急三番街店 ☎372-5031

狼と生きて

父 平岩米吉の思い出

平岩由伎子[編著]　◉新刊
3,500円＋税　◉限定1000部
狼と犬と猫の生態を研究し、動物文学をはじめて世に紹介した平岩米吉の波瀾に富んだ創造性豊かな生涯を娘の眼から深く描く。
夏の旅の思い出、ふしぎな巡りあわせ、動物画家・大崎善司、日本好きのスタール博士など、名品を掲載。

平岩米吉の本

狼 その生態と歴史
2,600円＋税

犬の行動と心理
◉4刷　2,000円＋税

犬と狼
◉2刷出来　2,500円＋税

私の犬
2,200円＋税

犬の生態
◉6刷　2,000円＋税

猫の歴史と奇話
2,200円＋税

動物文學 復刻版 [全10巻＋補巻・索引]
174,757円＋税　◉限定300部(分売不可)
南方熊楠、柳田国男、小川未明……錚々たる執筆陣が数々の作品・論考を寄稿し発表した幻の戦時中資料。

築地書館　〒104-0045 東京都中央区築地7-4-4-201 TEL03-3542-3731 FAX03-3541-5799 (発送料一律400円)
◉ご注文は、最寄りの書店または直接上記宛先まで。E-mail Address= JDH07647@niftyserve.or.jp

新作
貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

- 対　象／保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間／10日間
- 貸出料／無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先／当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

天王寺動物園の本

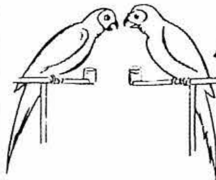
入園の記念・手引に……

オールカラー
500円
園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会　〒543-0063　大阪市天王寺区茶臼山町6-74　☎(06)771-0201

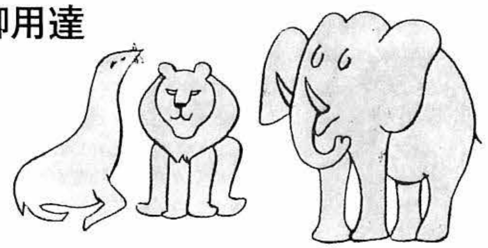
ALWAYS
Coca-Cola

近畿 コカ・コーラ ボトリング 株式会社
KINKI COCA-COLA BOTTLING CO., LTD.〈コカ・コーラ指定会社〉
Coca-ColaとCokeはThe Coca-Cola Companyの登録商標です



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

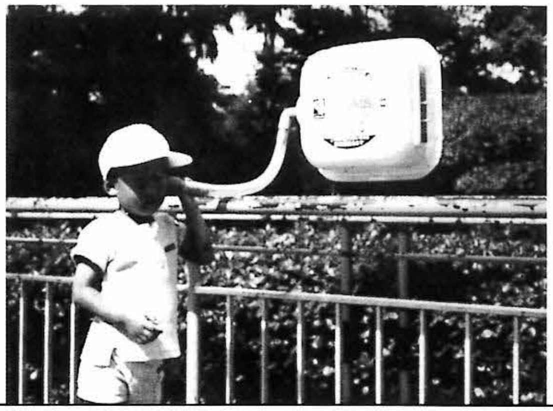


・医学実験用動物
・宣伝用、テレビ用、貸動物
・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

有限会社 吉 川 商 会

本 社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号 電話(078)221-8195(代)
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

たのしい〝動物のお話〟は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数ヵ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 30円

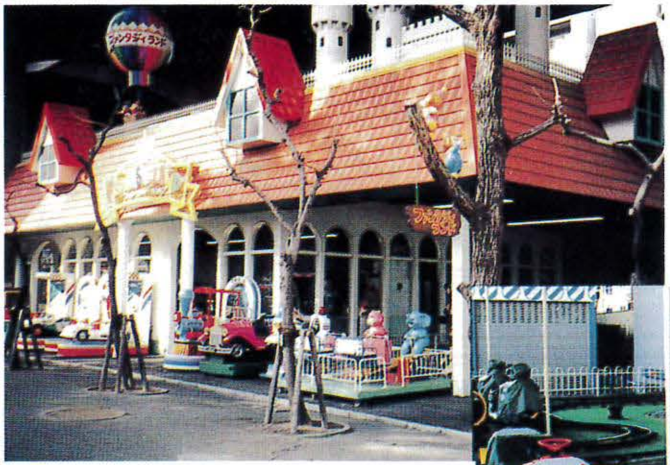
動物園内での
お食事、
ご休憩は

動物園内…………
中央売店
TEL 06-771-0973

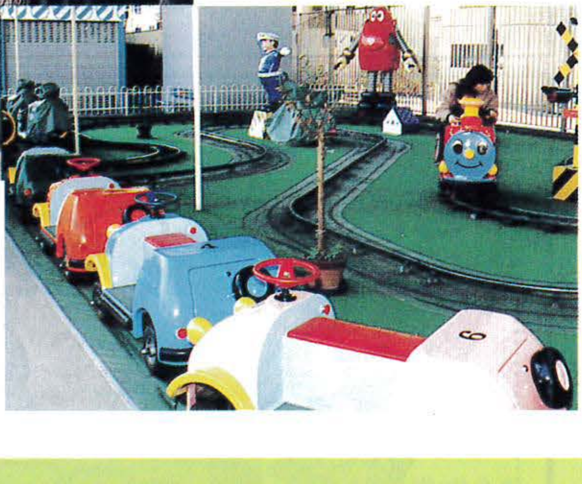
お食事・飲もの・おみやげ 動物園内
南園売店 TEL 06-771-7110

LOTTE
みんな大好き

コアラのマーチ
〈チョコレート〉
〈ストロベリー〉



一日
愉快に
たのしめる



◎園内３ヶ所（南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下）に各種〝のりもの〟があります。

久竹娯楽株式会社
TEL(06)541-3938(代)

なきごえ　1998年８月10日発行（毎月10日発行）第34巻　第８号　（通巻396号）

編　集／大阪市天王寺区動植物公園事務所
発行人／大阪市天王寺動物園協会　伊東重朗
印刷所／株式会社 松村善進堂

〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町6—74
電話 大阪 (06) 771—0201
振替口座　00930—2—37823

編集委員〔井坂　進／中尾啓一／石井　等／中川哲男／藤田四郎／長谷川敏昭／長澤英資／山崎道正／榊原安昭／森本委利／高橋雅之／市川久雄
中上正幸／萩原祐二／満　勇二／坂本　全／竹田正人／高見一利／山元貞幸／大野尊信／野口秀高／早川　篤／村上勇一／西村慶太／油家謙二〕